

診療所長 今月の二句

平成三十一年三月

紫の袴を揺らす 春の風

卒業式帰りでしょうか。若い女性の集団を目にしました。そこに、強めの風が吹き抜けました。揺れる袴の裾に、彼女たちの未来へのワクワク感と一抹の不安感を、感じ取りました。新鮮な一場面でした。

サクラサク 弥生の空と この笑顔

速報の代表格が、電報であった時代。寒さに耐え、コツコツと受験勉強にいそしんだ、苦しい季節が終わり、合格の知らせを受け取った、三月のある日。見上げれば、晴れ晴れとした空がありました。やったぜ!!